

トピックス

- 「いわきユアサ太陽光発電所」完成！
～出力1 MWのメガソーラー，順調に稼働～
- ブルーエナジー製リチウムイオン電池が「アコードハイブリッド」
「アコード プラグインハイブリッド」（本田技研工業（株））に搭載
～新型上級セダンの圧倒的低燃費に貢献～
- JICA の BOP ビジネス連携促進の協力準備調査に採択！
～今回の採択を軸にアフリカ BOP 市場の開拓に躍進～

「いわきユアサ太陽光発電所」完成！ ～出力1 MWのメガソーラー， 順調に稼働～

（株）GSユアサは、子会社である（株）いわきユアサの本社敷地に1 MW出力のメガソーラーを建設し、2013年6月13日より稼働を開始しました。8月22日時点で、総累積発電量は250,753 kWhと順調に運転を継続しております。（いわきユアサのメガソーラーの稼働状況については、こちらの URL よりご確認ください。 http://oversight.pvdata.net/IWAKIYUASA_F/index.html）

8月23日には福島県およびいわき市ならびに近隣の関係者の皆様をお招きして、メガソーラー完成お披露目会を開催いたしました。

このメガソーラーは、いわきユアサ本社工場敷地内の遊休地と工場棟屋根に太陽光パネルを配置し、GSユアサ製パワーコンディショナを導入、出力容量は250 kWを4台並列運転で合計1 MWです。発電した電力は経済産業省が推進している固定価格買取制度を活用して、すべて電力会社の系統に連系させます。

今回のメガソーラー設置の理由は、以下の3点となります。第一に東北地域の発電不足が予想される状況下において、GSユアサの事業経験が最も生かせる大規模太陽光発電（メガソーラー）を設置して夏の電力ピークを緩和させること。第二に、いわき市が東北一、年間日照時間が長い条件下で、全面南向き、遮る障害物もなく、最適な日当たり条件が整い効率よく発電することが出来ること。第三に、大規模太陽光発電（メ

ガソーラー）を自ら開設し、システムに関する技術ノウハウを蓄積し、長期のメンテナンスを含めた信頼性を維持するための経験を得ることです。

大震災後のいわき市でメガソーラーを一番初めに稼働させたことは「新たな形」での電力供給に寄与するだけでなく、震災復興のシンボルとなる意義のあることと考えております。

GSユアサグループは太陽光パネルで発電される直流電力を交流電力に変換し、商用系統に連系させるパワーコンディショナのパイオニアです。さらには、設計施工からアフターフォローまでを手掛けるシステムインテグレーターとして、20年近くにわたり実績を積み重ねてきました。また、太陽光発電と蓄電池を組み合わせて停電時や災害時に電気を供給するシステムなど、再生可能エネルギーを有効利用する手段を提供しております。

今後もGSユアサグループはパワーコンディショナや蓄電池を普及させることにより、刻々と変化する電力事情へ柔軟に対応できる社会づくりに貢献してまいります。

<メガソーラーの概要>

所在地	福島県いわき市好間工業団地 24 番地 9 号
敷地面積	約 33,000 m ²
出力容量	1 MW
年間予想発電量	1,100 MWh
パワーコンディショナ	ラインバックガンマ（250 kW 出力）× 4 並列

<写真>

1. メガソーラー全景図



2. パワーコンディショナ「ラインバックガンマ」(250 kW出力) × 4 並列

※屋外設置のためシェルターの中に4台設置しています。



<問い合わせ先>

(株)GSユアサ 新エネルギー本部



パワーコンディショナ：ラインバックガンマ

ブルーエナジー製リチウムイオン電池が
「アコードハイブリッド」
「アコード プラグインハイブリッド」
(本田技研工業(株)) に搭載
～新型上級セダンの圧倒的低燃費に貢献～

(株)ブルーエナジーが製造・販売するリチウムイオン電池が、本田技研工業(株)(以下、Honda)が、2013年6月21日に発売した新型上級セダン「アコードハイブリッド」「アコード プラグインハイブリッド」に搭載されています。

「アコードハイブリッド」には、当社従来品と同サイズでありながら、出力性能を大幅に向上させつつ、長期耐久性能を確保した新製品EH5が搭載され、「アコード プラグインハイブリッド」には、大容量化と高出力化をバランスよく実現させるとともに、高次元の信頼性と安全性を兼ね備えた新製品EH19が搭載されています。

当社は、2009年4月1日設立以来、リチウムイオン電池のさらなる性能向上や小型軽量化の実現に努めてまいりました。今後もハイブリッド車用リチウムイオン電池におけるリーディングカンパニーとして、リチウムイオン電池の製造・販売および研究開発を通じて、クリーンエネルギー社会の構築に貢献していきたいと考えております。

<当社の概要>

社名	(株)ブルーエナジー	
設立	2009年4月1日	
所在地	京都府福知山市長田野町1丁目37番地	
資本金	75億円	
出資比率	(株)GSユアサ	51%
	本田技研工業(株)	49%
事業内容	高性能リチウムイオン電池の製造・販売、および研究開発	

<リチウムイオン電池「EH19」, 「EH5」>



<問い合わせ先>

(株)ブルーエナジー 営業部 開発営業グループ

**JICA の BOP ビジネス連携促進の
協力準備調査に採択！
～今回の採択を軸に
アフリカ BOP 市場の開拓に躍進～**

(株)GSユアサは、独立行政法人国際協力機構(JICA)のBOPビジネス*1連携促進の協力準備調査*2に応募し、採択されました(JICA 公示日 2013年8月15日)。

採択案件は、「エチオピアにおける家庭用小型ソーラー電源システムおよび携帯電話充電システム普及事業準備調査」であり、共同提案会社はマイクライメイトジャパン(株)です。

アフリカの地方農村は、電化率が20%未満であり、照明は灯油ランプ、調理は薪に頼っています。それらにまつわる事故として、乳幼児による灯油の誤飲、引火による火傷や火災、煙の吸引による肺炎などが挙げられます。また、原油価格の高騰により、灯油コストの負担も増加しています。これらの諸問題を背景とし、当社では、新規に開発した再生可能エネルギー関連商品を用い、JICAの支援のもと、エチオピアでの市場調査・事業化の検討を実施いたします。

当社は、未電化地域における開発課題を解決するため、ソーラーパネルと自社の長寿命バッテリーを組み合わせ、LEDライトや携帯電話のUSB充電を提供できる機器を開発しました(商品名、AKARi SOLAR LIGHT KIT)。付属のLEDライトは、類似品の2倍以上の明るさになります。

さらに携帯電話および小型充電式電池(ニッケル水素電池)への充電、電子蚊取り器、小型ファンなどに適用が可能です。室内における灯油ランプや薪の利用を削減し、健康被害を除くとともに、電力インフラの

不足を補いCO₂を削減します。

また、同様にソーラーパネルとバッテリーを用いて、携帯電話の充電機能に特化した携帯電話充電システムを開発しました(商品名、moshi-moshi charger)。同国において、貧困層による「携帯電話の充電サービス」をビジネスモデルとし、収入および生活水準の改善に貢献します。

当社は、今後も世界の未電化地域、停電多発地域で、蓄電池を中心としてニーズに合った製品を開発、生産して、生活水準の向上を支援してまいります。

- *1 年間3000ドル未満で暮らしている貧困層(BOP: Base of the Pyramid)へのビジネス
- *2 開発途上国でBOPビジネスを計画している法人の現地事業調査への協力支援金制度

<家庭用小型ソーラー電源システム
「AKARi SOLAR LIGHT KIT」>



<問い合わせ先>

(株)GSユアサ 国際事業部 マーケティング部